

「統一教会」が喧伝する
「日韓海底トンネル」の「愚

台風のたびに山崩れが起り、堤防が決壊するような国なのである。同じ土木事業を起すなら、そつちが優先——などと考へるのは、さしすめ凡人の浅はかさ。ということになろう。日韓両国の友好の懸け橋にせんものと「日韓海底トンネル」を文字通り両国間に掘つてしまおうと思うっている人たちがいる。宗教団体、学者、それに政治家も一枚噛んでの大土木事業。それは間もなく、計算もできないようか巨額な予算を必要とする巨大

ロジエクトになるんだとか一。
現地調査も開始
だいいち、日韓両国間をトン
ネルでつなげば、両国民の友好
の度合いが深まるという考え方
からして、普通の人間には分り
にくい。ヨーロッパなんか、國
と國が地続きなのに、中世以
来戦争ばかりやつてきて、戦後
のベルリンではわざわざ塀を造
つてにらみ合っている。國家間
では、穴さえ掘れば仲良くなれ

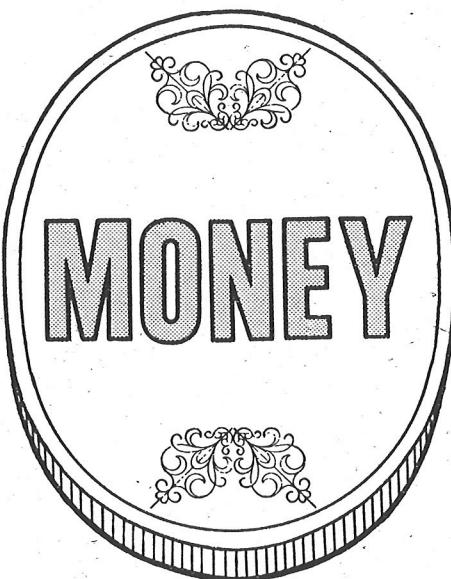
るが「科学の統一」に関する国際会議」と称する会議を、二年ほど前、ソウルにおいて開いていた。その席上で文鮮明師が唱えたのである。

それは、日本を出発して韓国・中国を経て、ソ連及びヨーロッパに至る国際ハイウェイを建設しようという遠大な構想なのだが、その手始めとして取りあえずは日韓の間にトンネルを掘ろうという内容。

「そのハイウェイは、世界のすべての国々を直接結合させよう

（原美輝雄）「（原）トネル研究会」を設立したんです」（原美輝雄・同研究会事務局長）この『日韓トンネル研究会』の設立総会で、呼びかけ人代表として挨拶を述べたのは、元立教大学総長の松下正寿氏。来賓として駆けつけたのは参議院議員で自民党最高顧問でもある安井謙氏以下、日韓議員連盟のメンバー。
西堀栄三郎・日本生産性本部理事や金山政英・元駐韓大使も

研究会』の顧問に就任した景山哲夫・近畿大学長はいう。「私は日ごろ、学長の仕事もあつて、自分で本を書く暇がない。その代り、何か世の中のお役に立てるようになると、人から頼まれたことを手伝つてやるようにしているんです。日韓トンネルの件は、『世界平和教授アカデミー』の研究会の折に頼まれましたね。私は顧問と大阪地区的責任者を引き受けました。トンネルの会議が開かれるときには必



るといふものではないのではないか。
が、ともかく両国間に友好の輪を広げようという趣旨で、日韓海底トンネルを掘ろうと提唱しているのは、統一教会（世界基督教統一神靈協会）の「教主」文鮮明師。ひとつ「狂信的反共集団」「人さらい集団」などとマスコミの批判を浴び、原理運動や大規模な合同結婚式でも有名となつた、あの統一教会の「教主」なのだ。

とするものです。……バイウエイ構想には、中立の緩衝地帯を設け、国境を超越した地域とします」などと、国際ハイウェイ構想は、そのものが、やけに具体的な計画として提案されている。

統一教会の関係者が、その後のいきさつを説明する。

「そのソウルで開かれた国際会議には、日本からも「世界平和教授アカデミー」（注＝統一教会の任意学術団体、参加している学者五百名）のメンバーやが

究会の会長には佐々保雄・北大名誉教授、理事には紅林茂夫、清水馨八郎・千葉大教授など、錚々たる顔ぶれを選んでいる。いまや、『日韓トンネル研究会』とは別に、事業主体としての『国際ハイウェイ建設事業団』というのも作られ動き始めている。こちらは船をチャーターして対馬海峡で音波探査は開始するわ、自ら第一定期安丸という五二トンの調査船は購入するわとい

寄付集めが目的とも

関係者は、くまでもなく眞剣なのである。『日韓トンネル研究会』の顧問に就任した景山

哲夫・近畿大学長はいう。

その代り、何か世の中のお役に立てるようになると、人から頼まれたことを手伝ってやるようになります。日韓トネルの

件は、『世界平和教授アカデミー』の研究会の折に頼まれまして、私は顧問と大阪地区的責任者として、日本と韓国との平和問題についての調査研究を行なうことを請けました。

われ利に屬する。トーンネルの会議が開かれるときには必ず任者を引き受けました。

とするもので、……」
イの両側少なくとも一キロの地帯には、中立の緩衝地帯を設け、
国境を超越した地域とします」
統一教会の関係者が、その後
のいきさつを説明する。
「そのソウルで開かれた国際会議には、日本からも『世界平和教授アカデミー』（注）統一教会の任意学術団体、参加している学者數千五百名）のメンバーが多数出席した。そこで帰国後『世界平和教授アカデミー』の中に、準備委員会や総括委員会を作つて検討したんですが、なにぶん日韓トンネル一つを取つても大プロジェクト。とても研究しきれないで、この五月、あらためて『（国際ハイウェイプロジェクト）日韓トンネル研究会』を設立したんです」（原美輝雄・同研究会事務局長）

この『日韓トンネル研究会』の設立総会で、呼びかけ人代表として挨拶を述べたのは、元立教大学総長の松下正寿氏。

来賓として駆けつけたのは参議院議員で自民党最高顧問でもある安井謙氏以下、日韓議員連盟のメンバー。

西堀栄三郎・日本生産性本部理事や金山政英・元駐韓大使も

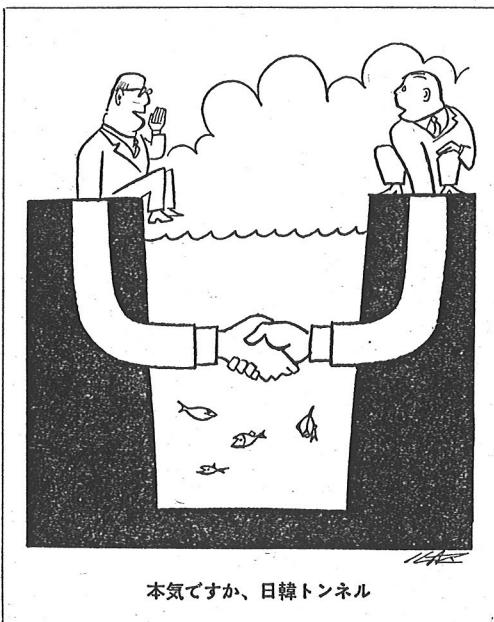
清水馨八郎・千葉大教授など、名譽教授、理事には紅林茂夫、鈴々たる顔ぶれを選んでいる。

いまや、『日韓トンネル研究会』とは別に、事業主体としての『国際ハイウェイ建設事業団』というのも作られ動き始めている。こちらは船をチャーターランで対馬海峡で音波探査は開始するわ、自ら第一定安丸といいう船を購入するなど、二つの調査船は購入するわ」と、二つの状態。トンネルの日本側山発点になるはずの唐津市や、中間の壹岐、対馬には、早くも現地事務所まで設けたといふ。

寄付集めが目的とも関係者は、「うまでもなく、剣なのである。『日韓トンネル研究会』の顧問に就任した景哲夫・近畿大学長はいう。

「私は日ごろ、学長の仕事をつて、自分で本を書く暇がないでいるんです。日韓トンネルの件は、『世界平和教授アカデミー』の研究会の折に頼まれました。トネルの会議が開かれるときには、私は顧問と大阪地区の任者を引き受けました。ト

¥£\$ MONEY



本気ですか、日韓トンネル

トネル研究会の支部もあって、調査もどんどん進んでいます。私の専門は経済だから、技術的なことはよく分らんが、地で調査中の技術者によれば、技術的には問題なさそうですね。青函トンネルが掘れなんなら、日韓トネルも掘れるだらうと、景山学長、驚くばかりで、楽観的なのである。

がいいらしいんですが、どうやらがいいでしようかなどと、私は相談があるわけです。私はだいたいトンネルが嫌いですもんね、対馬で一度地上に出でべきだと答えました。技術の選択に際しては、素人の意見が必要なんだそうです」

ところで、この日韓トンネル構想なるものには、戦前派の士官なら、何となく聞き覚えがおぼりかもしれない。日韓トンネルばかりではなく、国際ハイウェイ構想そのものが、実は文鮮明イ構想のものが、実は文鮮明師の専売特許ではないのです。すでに四十年前、日本の帝国陸軍が大東亜共栄構想のよとに日本からヨーロッパに至る大鉄道計画を作っている。陸軍

の依頼を受けた鉄道省は、青函トンネル、関門トンネル、日韓トンネルなどの現地調査に着手。対馬海峡での弾性波調査（昭和十六年）、ボーリング調査（同十七年）まで行なつたのである。

戦後にも『大林組』が、こちらは机上プランだが、同じ構想を検討し発表したことがあるんだという。

『大林組』広報室の林章課長代理によると、

「うちの場合は、当社が発行しているP.R誌『季刊大林』の編集上の企画としてやつしたもので、東京からロンドンまで道路を造るにはいかにすべきか、といふテーマで、社内の技術者十

兆円。けじや
ど……
ただ
るので
「うち
遊びと
が、現
れは別
十キに
る落差
るんで
二、三
もつか
いでし
『日韓
した安
つしや
「あれ

「しかし『大林組』は驚いていた。まあ、特許を申請したわないからしようがないわけあるまい。技術者の夢として、やってだからやりました。実に掘るとなつたら、問題。対馬の北西、沖合は、対馬トラフと呼ばねばならぬ。数百メートル以上の正断層があるんですよ。海底調査だけで、十年は必要。費用は見当らないほどかかるんじやうか」

とつは、ろうともある。両国民がべきこゝつの夢をはいこゝへ統一教の寄付た、とおも集めを結ないが、内部で機関紙を社』で、バ騒ぎを仲裁

大変なカネがかかるだ
う問題。日韓の間に
ヨリもあるし、飛行機
トンネルを掘る前に、
が親しくなるためにやる
ことも沢山ある。あれは一
なんですね。夢を追うの
ことだと思いますが」
同協会はトンネル調査のた
内金集めもすでに始め
める関係者。永遠に寄付
続ける魂胆なのかもしれ
肝心かなめの統一協会
は平和が保たれているか
は、この一日、同協会の
を発行する『世男日報』
編集方針をめぐり内ゲ
を起している。渋谷署が
に駆け付ける騒ぎ。

土曜日の午後に集まつて半年がかりで道路計画を作つたんです。その中心が、やはり日韓トンネル。帝国陸軍と鉄道省の選んだコースが最善のものと仮定して、唐津市の北にある呼子町を基点にし、壱岐、対馬、釜山をつなぐ設計を試みた。工事費は三兆円との算定も出しました。私どもがそのPR誌を発行して一年ぐらいたつたら、向う（統一教会）の計画がボカンと出てきたんですね。最初はうちのプランとそつくりなことをいっていました。向うも工費は三



肩こり・腰痛・神経痛・打撲

兆円。まあ、特許を申請したわけじゃないからしようがないけれど……」

ただし『大林組』は驚いているのである。

「うちには、技術者の夢として、遊びとしてだからやりました

が、現実に掘るとなつたら、これは別問題。対馬の北西、沖合十キロには、対馬トラフと呼ばれ

る落差数百メートル以上の正断層があるんですよ。海底調査だけで、二、三十年は必要。費用は見当もつかないほどかかるんじやないでしようか」

『日韓トンネル研究会』を激励した安井謙・参院議員は何とおっしゃるか。

「あれはねえ、すぐにできるといふものじゃない。二つの問題があるでしようね。一つは技術的にどうかという問題。もうひ

「うちは、技術者の夢として、遊びとしてだからやりました

が、現実に掘るとなつたら、これは別問題。対馬の北西、沖合十キロには、対馬トラフと呼ばれる落差数百メートル以上の正断層があるんですよ。海底調査だけで、二、三十年は必要。費用は見当もつかないほどかかるんじやないでしようか」

『日韓トンネル研究会』を激励した安井謙・参院議員は何とおっしゃるか。

「あれはねえ、すぐにできるといふものじゃない。二つの問題があるでしようね。一つは技術的にどうかという問題。もうひ

「うちは、技術者の夢として、遊びとしてだからやりました

が、現実に掘るとなつたら、これは別問題。対馬の北西、沖合十キロには、対馬トラフと呼ばれる落差数百メートル以上の正断層があるんですよ。海底調査だけで、二、三十年は必要。費用は見当もつかないほどかかるんじやないでしようか」

『日韓トンネル研究会』を激励した安井謙・参院議員は何とおっしゃるか。

「あれはねえ、すぐにできるといふものじゃない。二つの問題があるでしようね。一つは技術的にどうかという問題。もうひ

両国民が親しくなるためにやるべきことも沢山ある。あれは一つの夢なんですね。夢を追うのはいいことだと思うんですが」

統一教会はトンネル調査のための寄付金集めもすでに始めた、となる関係者。永遠に寄付を集めを続ける胆壮なのかもしれないが、肝心かなめの統一協会内部では平和が保たれているかといえば、この一日、同協会の機関紙を発行する『世男日報社』で、編集方針をめぐり内ゲバ騒ぎを起している。波谷署が『仲裁』に駆け付ける騒ぎ。

『世界日報』も休刊。トンネル以前の状態のようだ。